

出版・報道関係者各位

プレスリリース：2017年7月18日

**南カリフォルニア大学：講演イベントを東京で9月に開催
～ソニー・平井社長、ペトレイアス元CIA長官ら登壇予定～**

安倍晋三総理大臣の留学先として知られる米国の高等教育機関、南カリフォルニア大学（所在地：カリフォルニア州ロサンゼルス市、学長：C.L. マックス・ニキアス博士、以下「USC」）は本日、2017年9月21日から23日にかけて、東京都六本木のグランドハイアット東京ホテル内会議場「グランドボールルーム」において、「Global Conference 2017（グローバルコンフェレンス 2017）」を開催することをお知らせします。

このイベントは、研究機関であるUSCが持つさまざまな知見を、学術、ビジネス、政界はもとより、一般ならびに報道機関の皆様とひろく共有することを目的としており、アジア各地において隔年開催されています。

本年9月の東京におけるグローバルコンフェレンスでは、合計35人の登壇者による14講演/パネルディスカッションを予定しています。なかでも、9月22日（金）午前9時30分から10時30分までの基調講演には、ソニー株式会社 社長 兼 CEOの平井一夫氏がUSCのエリザベス・M・デイリー博士とともに登壇し、仮想現実(VR)や人工知能(AI)、ロボティクスなどの新しい技術を活用した創造的な取組みをテーマに、ディスカッションを行う予定です。さらに、翌9月23日（土）の午前9時から、元米国中央情報局(CIA)長官職を経て、現在はUSCにて教鞭を執りつつ米投資会社KKRのパートナーを務める、デイビット・ペトレイアス陸軍大将（退役）が、橋本内閣（第二次）や小泉内閣（第二次）で内閣補佐官を務め、現在は外交評論家として活動している岡本行夫氏とともに登壇し、環太平洋地域の安全保障における日米間の連携をテーマに、パネルディスカッションを実施します。また、9月21日（木）19時30分から開催される開会パーティでは、世界的バイオリニストである五嶋みどり氏による演奏も予定しています。その他の登壇者・演題は決定次第、順次ウェブサイト上で発表します。

<http://globalconference2017.usc.edu/schedule/>

前回（15年）の開催地は、中国・上海で、デジタル技術と学術、アート、ビジネスの融合をテーマに、USCの教授陣とともに、ウォルト・ディズニー社のアイガー社長ら世界的企業家が登壇しました。上海では、3日間の会期中に、およそ20講演が展開され、約500人を動員しました。

【記】

イベント名：Global Conference 2017（グローバルコンフェレンス 2017）

主催：南カリフォルニア大学（USC）

概要：学術、ビジネス、政界、一般ならびに報道機関からの聴講者を対象に、米国高等教育機関の南カリフォルニア大学（USC）教授陣をはじめ、政界、ビジネス界や、アート、科学分野のトップランナーら約35人の登壇者が、14の演題を講演する3日間のイベント。東京での開催は2007年に続き二回目。

隔年アジア地域で開催されており、2017年で第六回目となる。

開催地：グランドハイアット東京ホテル内会議場3F「グランドボールルーム」（バリアフリー）
（住所：〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3）

開催期間：2017年9月21日から23日までの3日間

報道・出版関係者様のお申し込み：貴社名、ご所属、ご連絡先を明記のうえ、下記担当者までご連絡ください。なお、報道・出版関係者のご参加は無料です。

南カリフォルニア大学（USC）広報（CNC Japan内）

担当：岸本、村上

電話：03-5156-0273 Fax: 03-5156-0188

email: marika.kishimoto@cnc-communications.com itsuki.murakami@cnc-communications.com

プレスルーム: <http://globalconference2017.usc.edu/プレスルーム/>

一般お申し込み：下記専用申し込みウェブサイト（英語のみ）から直接ご登録ください。

<http://globalconference2017.usc.edu/register/>

一般参加者費用：クレジット決済（3日間共通チケットのみ販売、以下USドル）
8/16まで：\$600（早期予約） 8/17-9/21まで：\$800

※講演スケジュールならびに登壇者の略歴は、次ページ以降をご参照ください。

同時配布先：
霞クラブならびに文部科学省記者会

【参考資料：Global Conference 2017（グローバルコンフェレンス 2017）スケジュール】

9月21日（木）

- 6:30 PM：開場（受付オープン）
- 7:30 PM：オープニング（ディナー）パーティ
五嶋みどり氏によるバイオリン演奏

9月22日（金）

- 7:30 AM：開場（受付オープン）
- 8:00 AM-9:00 AM：朝食提供
- 9:00 AM：「開会のごあいさつ」 登壇者：C.L. マックス・ニキアス博士（USC 学長）
- 9:30 AM- 10:30 AM：
基調講演「仮想現実(VR)や人工知能(AI)、ロボティクスなどの新しい技術による創造的な取組みについて（仮題）」
登壇者：平井一夫（ソニー株式会社 社長 兼 CEO）
エリザベス・デイリー博士（USC 映画芸術学部学部長）
- 11:00 AM-12:00 PM：
【パネルディスカッション1】
「USC アネンバーグスクール調査：日本と米国の家庭における携帯端末使用がもたらす影響（仮題）」
登壇者：ジム・ステイヤー（米非営利団体コモンセンスメディア代表）
ウィロー・ベイ（USC アネンバーグ・スクール・オブ・ジャーナリズム学部長）
【パネルディスカッション2※】
- 12:00 PM-13:15 PM：昼食提供
- 1:15 PM-4:10 PM
【講演※】×5：各25分
【パネルディスカッション※】×2：各1時間

9月22日（土）

- 8:00 AM：開場（受付オープン）
- 8:30 AM-9:00 AM：朝食提供
- 9:00 AM-10:00 AM：
講演「予測不可能な地政学的環境と日米間共通の懸念（仮題）」
登壇者：デイビッド・ペトレイアス陸軍大将（退役（USC 教授）/ 岡本行夫（岡本アソシエイツ代表取締役）
- 10:10 AM-12:00 PM：
【パネルディスカッション※】×3（各1時間）
- 12:00 PM-13:00 PM：昼食提供
- 6:30 PM：ガラ・パーティ受付オープン
- 7:30 PM～：ガラ（ディナー）パーティ
USC カウフマン・スクール・オブ・ダンスの生徒らによるパフォーマンス

※演題/登壇者は決定次第、追ってお知らせいたします。

（上記スケジュールは予定です。変更の可能性があります）

同時配布先：
霞クラブならびに文部科学省記者会

【参考資料：登壇者略歴①】

平井 一夫 （ひらい・かずお）

ソニー株式会社 代表執行役 社長 兼 CEO



平井 一夫（ひらい・かずお）氏は1960年生まれ、東京都出身。1984年に国際基督教大学教養学部卒業後、1984年に株式会社CBS・ソニー（現ソニー・ミュージックエンタテインメント）に入社。

1995年、ソニー・コンピュータエンタテインメント・アメリカ（現ソニー・インタラクティブエンタテインメントアメリカ）に出向し、1999年にPresident兼COO、2007年に株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント（現ソニー・インタラクティブエンタテインメント）代表取締役社長兼グループCEOに就任。全世界のゲームビジネスの責任者として「プレイステーション」ビジネスを黒字化、「プレイステーションネットワーク」サービス拡大の推進などを手掛けました。

2009年にはソニー株式会社 執行役 EVP、2011年に代表執行役 副社長、2012年に代表執行役 社長兼CEOに就任。コンシューマーエレクトロニクスをはじめ、ゲームや映画、音楽などのエンタテインメント、保険や銀行を含む金融を中心とするソニーグループの多様な事業を統括する一方、新規事業創出の取り組みなども推進しています。

平井氏の過去5年間にわたるかじ取りで、同社は経営の立て直しに成功し、革新的で魅力的な新製品を発売しており、2018年3月期には、20年ぶりの高水準となる連結営業利益5000億円（約45億米ドル）を見込んでいます。

同時配布先：
霞クラブならびに文部科学省記者会

【参考資料：登壇者略歴②】

エリザベス・M・デイリー博士 (Dr. Elizabeth M. Daley)

南カリフォルニア大学(USC) 映画芸術学部学部長



エリザベス・M・デイリー博士は、1991年5月にUSCの映画芸術学部学部長に就任¹⁾しました。USCのアネンバーク・コミュニケーション・センター初代所長(1994～2005年)を務めたのち、現在は、同校マルチメディア・リテラシー研究所の理事を務めています。

デイリー博士は1989年、映画・テレビ制作プログラムを教授すべく、USCの一員に加わりました。それ以前は、マーク・テーパー・フォーラムのテレビ・映画事業子会社で監督、MGMテレビジョンのプロデューサー等の職務に従事しました。現在も、独立系プロデューサーやメディアコンサルタントとして活躍しており、アビッド・テクノロジー、ベントン財団のほか、世界経済フォーラム（メディア・エンターテインメント・情報に関するグローバル・アジェンダ・カウンスル）などの理事を務めています。

これまでの業績が評価され、デイリー博士は、アメリカン・ウーマン・イン・ラジオ・アンド・テレビジョン (American Women in Radio and Television)に表彰されています。さらに、ロサンジェルス・エリア・エミー賞(Los Angeles Area Emmy Award)にも、2回ノミネートされています。また、デイリー博士が制作した障がい者に関する番組は、シネゴールデンイーグル(Cine Golden Eagle)とバーバラジョーダン賞(Barbara Jordan Award)、カリフォルニア州知事賞を受賞しています。

デイリー博士は、学士号と修士号をそれぞれチューレーン大学 (Tulane University)とニューカム大学(Newcomb College)で取得したのち、ウィスコンシン大学(University of Wisconsin)で博士号を取得しています。

¹⁾スティーブンJ. ロス/タイムワナー(記念)学部長職

【参考資料：登壇者略歴③】

デイビッド・H. ペトレイアス (David H. Petraeus) 陸軍大将(退役)
南カリフォルニア大学(USC) 教授



デイビッド・ペトレイアス氏は2013年、USCの教授¹⁾に就任しました。ペトレイアス氏は、国際的な投資会社であるKKRのパートナー兼KKRグローバルインスティテュートの会長も務めており、また、Optiv（グローバルサイバーセキュリティソリューションプロバイダー）への参画や個人ベンチャーキャピタリストとしても知られています。

KKR参画前は、イラク戦争における連合軍や、米中央軍司令部のほか、アフガニスタン連合軍で指揮を執り、37年以上にわたって米軍に従事しました。退役後は、中央情報局（CIA）長官を務めました。

ペトレイアス氏は米軍士官学を優等で卒業したのち、プリンストン大学ウッドロウ・ウィルソン・スクールで国際関係学と経済学を学び、公共経営修士（MPA）と博士号を取得しました。その後、米軍士官学校で国際関係学と経済学を教え、ニューヨーク市マコーレー校のシティ大学の公共政策の客員教授も務めました。米軍、米国務省、NATO、国連他、13カ国から様々な勲章や賞を授与されています。

ペトレイアス氏はまた、ハーバード大学のベルファーセンター上級研究員、ウィルソン・センターグローバル諮問委員会の共同議長、英国王立防衛安全保障研究所のシニアバイスプレジデント等の各要職のほか、戦争研究所（ISW）やトランティック・カウンシル、コンコルディア・ファウンデーションでも委員を務め、数多くの退役軍人組織のメンバーも兼任しています。

¹⁾USCの設立者であるウィットニー判事の名を冠し、芸術、科学、専門職、ビジネス、コミュニティ、国家のリーダーシップなど特別な功績を残した個人に対して任命される、ジャッジ・ウィットニー(記念)教授職に就任

同時配布先：
霞クラブならびに文部科学省記者会

【参考資料：登壇者略歴④】

岡本 行夫 （おかもと・ゆきお）
岡本アソシエイツ代表



岡本 行夫（おかもと・ゆきお）氏は、1998年に一橋大学経済学部を卒業した後、外務省に入省しました。1991年の退官後、同年に岡本アソシエイツを設立しています。

岡本氏は、橋本内閣、小泉内閣と2度にわたり首相補佐官を務めています。また、立命館大学客員教授、東北大学特任教授、MIT 国際研究センター・シニアフェローなどを歴任し、政府関係機関、企業への助言活動の傍ら、国際情勢を分析し、新聞・雑誌・講演・TV等で幅広く活動しています。

主な著書に、首相補佐官当時の回想録「砂漠の戦争～イラクを駆け抜けた友、奥克彦へ」（文藝春秋社）があり、ほかにも多数の書籍を執筆しています。

岡本氏は、1945年生まれで、神奈川県出身です。

同時配布先：
霞クラブならびに文部科学省記者会



南カリフォルニア大学 (USC)について

南カリフォルニア大学(USC)はアメリカの私立大学で、世界の研究を先導しています。ロサンゼルス地域の基幹校としてひろく知られている USC は、1880 年に設立され、人文、工学ならびに国際ビジネスにおいてグローバルレベルで中心的な役割を担っています。USC は、多岐に渡るカリキュラムを擁しています。また、高度な研究環境を活かし、学際的研究や各分野をリードする研究者との共同研究の機会を提供しています。年間約7億ドルの研究資金をもとに、科学、工学と保健の分野において、私立大学のなかで最大級の大学院課程を提供しています。

本件に関する報道・出版関係のお問い合わせ先

南カリフォルニア大学(USC) 広報代理(日本)

担当：岸本、村上 (CNC Japan 内)

電話：03-5156-0273 Fax: 03-5156-0188

email: marika.kishimoto@cnc-communications.com itsuki.murakami@cnc-communications.com

プレスルーム: <http://globalconference2017.usc.edu/プレスルーム/>